第3種 砂原漁港
（北海道森町）

砂原地域マリンビジョン策定（推進地域）

砂原（さわら）地区特定漁港漁場整備事業計画

渡島噴火湾
南部圏域
流通拠点

現状と課題

・ホタテガイ及びスケトウダラの衛生管理対策が未だ不十分であり、水産物輸出に対応できていない状況にある。
・地域の流通拠点として位置づけられているものの防災対策が遅れており、大規模災害発生後の水産活動の継続に課題がある。
・通年操業の漁家が増加しているため、漁船の輻輳による混雑が解消されない状況にある。

港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：171隻
利用漁船：158隻
（内、外来漁船：16隻）
属地陸揚量：11，820トン
属地陸揚金額：27．4億円
主な魚種：ホタテガイ、スケトウダラ
組合員数：191人

◎砂原漁港の役割

・北海道噴火湾におけるスケトウダラ刺網及びホタテガイ養殖等の沿岸・養殖漁業の流通拠点
・地震津波及び火山噴火に備えた地域の防災拠点

主　要　対　策

主な整備方針

・衛生的な荷さばき・出荷環境を確保し、輸出促進及び国内競争力の強化を図るため、屋根付き岸壁等の整備を行う。
・耐震性能を強化した岸壁等を整備し、大規模災害発生後においても水産業の継続・早期再開を可能とする。
・地元小型漁船に対応した新たな港区を整備することにより、漁船の輻輳解消を図ることで、漁業活動の効率化を図るとともに、外来船受け入れ機能を強化する。

基本事項

全体事業費：101．1億円
事業期間：H28～R8

主要な対策①：衛生管理対策

陸揚げ時の鳥害が懸念

屋根付き岸壁の整備イメージ

衛生管理の高度化を推進

主要な対策②：防災対策

東日本大震災における岸壁浸水状況

主要な対策③：港内再編

漁港内の混雑状況